

(仮称)大田区無電柱化推進計画(案) 概要版

1. 無電柱化の現状と課題

現状

- ✓ 蒲田駅・大森駅・田園調布駅等の駅周辺や補助第44号線等の都市計画道路、災害発生時の救命・救急活動や円滑な避難の際に重要となる路線(道路障害物除去路線)などで無電柱化を実施
- ✓ 京急蒲田駅・糀谷駅付近の再開発事業においても、関係者の協力により無電柱化を実施
- ✓ 令和2年4月1日時点で、区道約777kmのうち約10.6kmの無電柱化を実施(区道全体の約1.4%)



図1 蒲田駅東口周辺

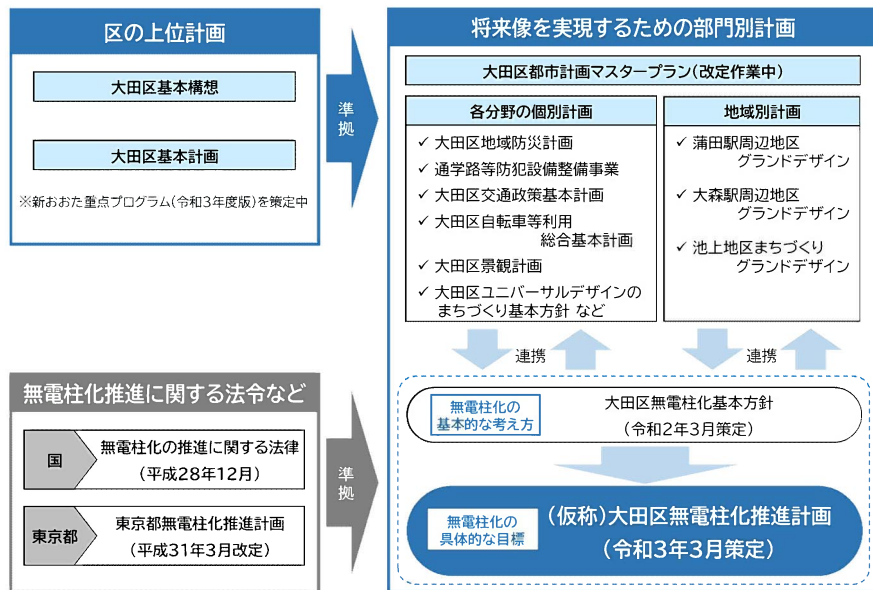


図2 補助第44号線上池台付近

課題

- | | |
|-----------------------------|------------------|
| ① 道路の幅が狭く、電線共同溝の整備空間がない | ←歩道幅員で2.5m以上が必要 |
| ② 電線共同溝の整備には多大な費用が必要になる | ←5.3億円/km ※施設延長 |
| ③ 無電柱化の工事には長い期間が必要になる | ←道路400mの無電柱化に7年 |
| ④ 関係者との合意形成を図っていく必要がある | ←関係者との協議や沿道区民の協力 |
| ⑤ 無電柱化を計画的かつ効果的に推進していく必要がある | ←関連計画との連携 |

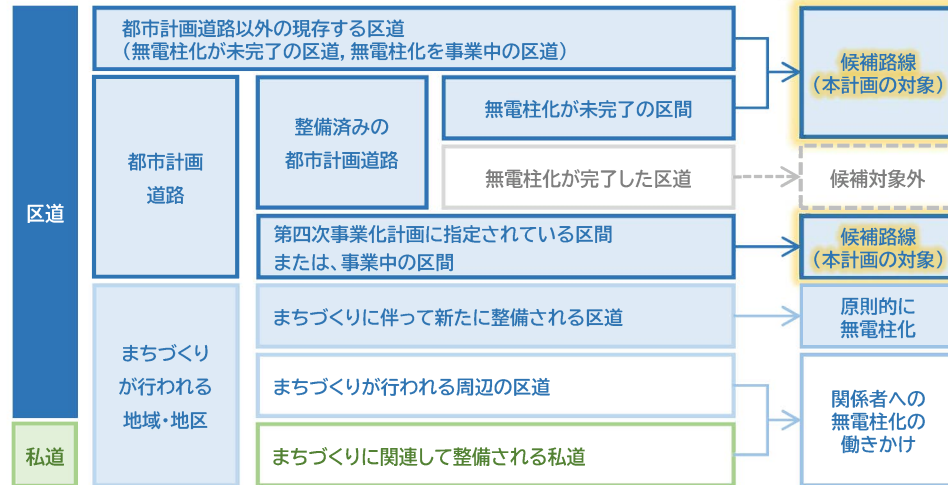
2. 無電柱化推進計画の位置付け



3. 無電柱化推進の基本的な考え方

考え方

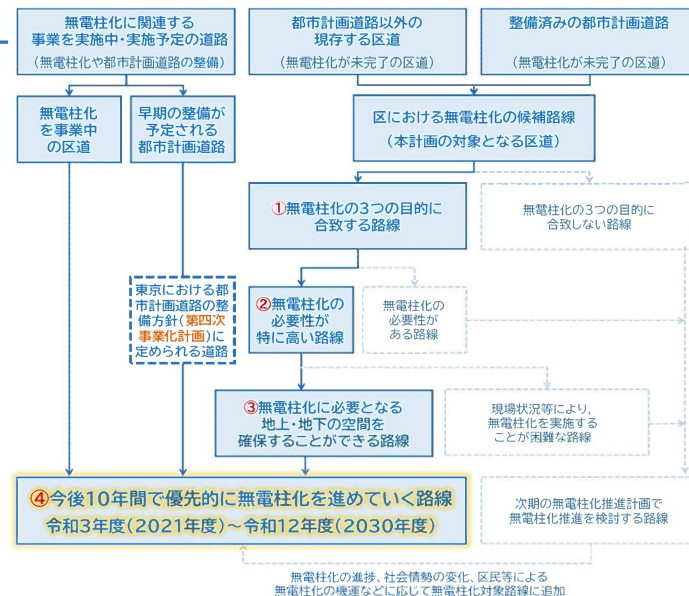
- ✓ 無電柱化が未実施の区道を対象とし、無電柱化の必要性和実現性の高い路線から整備を予定
- ✓ 今後、新たに整備される区道(都市計画道路など)については、原則的に無電柱化を実施
- ✓ 計画期間は、関連計画との連携の視点から、令和3年度～令和12年度(計画期間10年間)と設定



4. 今後10年間で優先的に無電柱化を進めていく路線

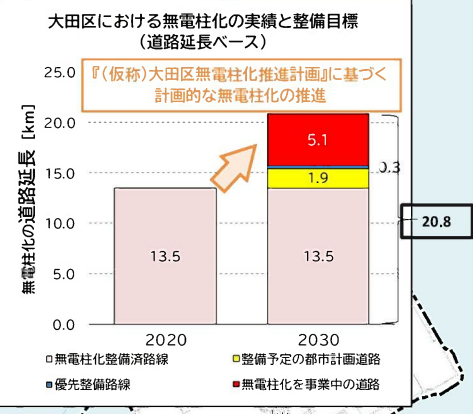
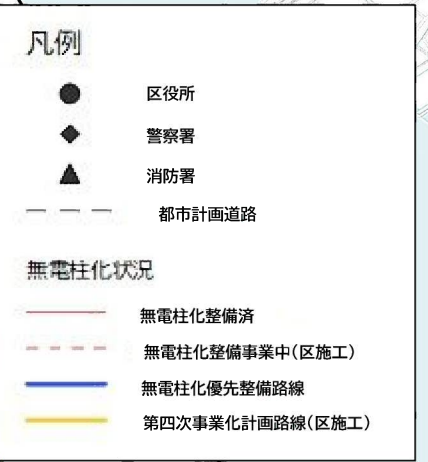
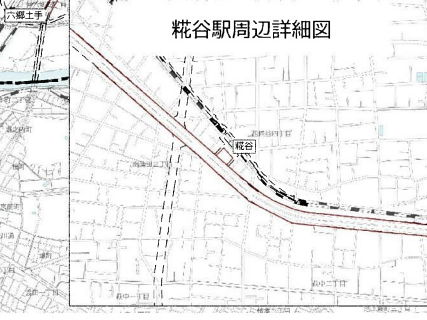
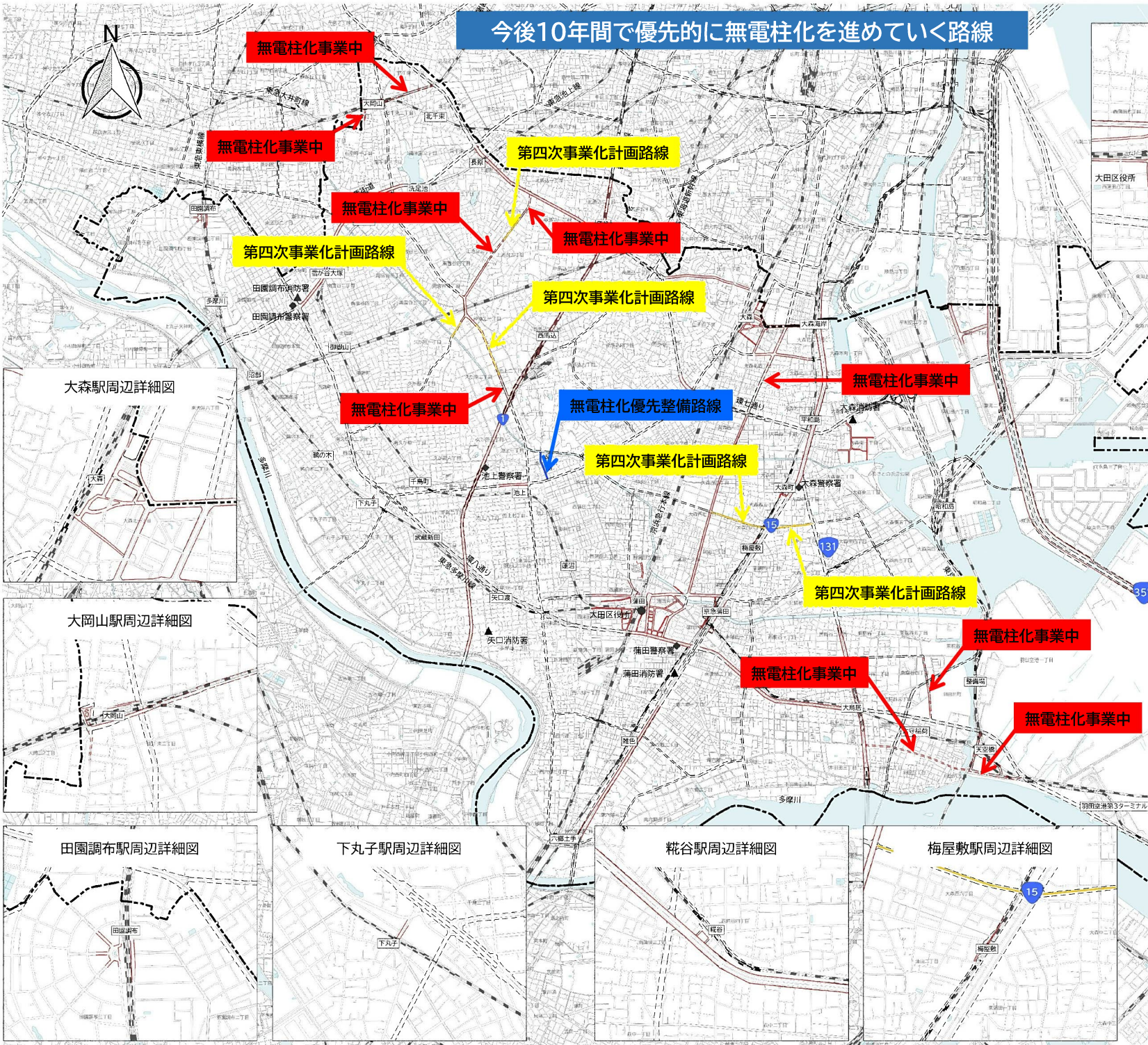
選定方法

- ①無電柱化の3つの目的(『都市防災機能の強化』『安全で快適な歩行空間の確保』『良好な都市景観の創出』)の視点から、区の間連計画等に基づき**無電柱化候補路線を抽出**
- ②このうち、近年の台風による電柱倒壊被害の発生等を助長し、『**都市防災機能の強化**』を重視
- ③上記の中から、地上機器の設置スペースや工事に必要となる最小幅員等を考慮
- ④優先的に無電柱化を推進する路線として『**主要第23号線(池上通り～霊山橋南詰)**』を選定。これに加え、『**無電柱化を事業中の路線**』と『**第四次事業化計画における都市計画道路の優先整備路線**』を選定



無電柱化の進捗、社会情勢の変化、区民等による無電柱化の機運などに応じて無電柱化対象路線に追加

今後10年間で優先的に無電柱化を進めていく路線



※ (仮称)大田区無電柱化推進計画策定に伴い電力事業者による無電柱化の実施状況など、最新状況を精査した結果、令和3年2月1日時点の整備延長は13.5kmとなる(このときの無電柱化率は1.7%)

